

社会の変化を捉え、 地域の課題に挑む

(平成7年度入省)

中国四国管区行政評価局

総務行政相談部 総務課長

● 中国四国管区行政評価局の職員として採用された場合、どのようなキャリアを積んでいくことになりますか？

行政の制度・運営の改善を目指すという根幹の部分は共通していますが、当局の業務の内容は大きく分けて「行政運営改善調査」と「行政相談」の2種類です。採用後は、おおむね2～3年ごとに部署・勤務地を異動しながら、行政運営改善調査と行政相談の両方の経験を積んでいきます。

私の場合、平成7年度に採用された後、これまでに管区局・センター・本省で勤務し、様々な分野の行政運営改善調査や行政相談業務に従事したほか、総務部門で人事・会計業務等を経験する機会もありました。現在は、局のバックオフィス業務を統括しています。

● 行政評価局の職員として仕事をする上で、大事にしていることは何ですか？

当局は、行政運営改善調査や行政相談を通じて、地域課題の解決を目指していますが、その課題も、社会経済情勢により常に変化しています。その変化を敏感に捉えるためにも、「前例どおり」に納得せず、時には現状を疑うことも必要だと思います。

また、当局では、皆が上司や同僚と積極的に意見を交わしながら、仕事を進めています。基本的なことではありますが、自分の考えを整理し、正しく伝えることが大切だと考えています。

◆ 受験生に向けた一言メッセージ

私たちは、“地域に根差した視点から『行政の制度・運営の改善を実現していく』”というミッションの下、その実現に向けて、柔軟な発想で、業務にチャレンジできる人材を求めています。

当局の業務に少しでも興味を持っていただけたら、ぜひ、業務説明会にご参加ください。
お待ちしております!!

